

アートとまちをつなぐ伊丹の

アイテム

2010

秋

Vol.13

公益財団法人
伊丹市文化振興財団

TAKE FREE

特集

伊丹で始める クラシック



大好評の連載陣

【終演後の一軒】

釣りと音楽を愛する立ち飲み屋

【芸は身を助く】

超体育会系ノリで自分に喝を入れてみる

【伊丹と私は同じ歳】

いつも「今」を謳歌する70歳。

【THE 部活】

ユルさが僕らのマイペース

【伊丹遺産】

楽器の王様バイオリン、伊丹にあり

【舞台の裏側】

サウンドの下支え



華やかな舞台を支える巨大装置やハイテク、職人技。
普段は見ることのできない裏技をお見せします。

舞台の裏側

伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団・トレーナー

◎ サウンドの下支え

曲の細部に渡って指揮者の指示が飛ぶ。タクトに意識を集中し、繰り返し練習する中、パートごとにアドバイスをする人物がいる事に気付く。音楽性の向上を目指して、指導にあたる「トレーナー」だ。本番に出る事はないが、プロアマ混合の伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団を影で支える。普段はプロオーケストラの首席奏者やソリストとして活躍し、同楽団の練習では楽譜からだけでは読み解けない微妙な音の強弱を伝え、演奏し教え込む。時にはパートの作り込みを任せられ、指揮者からアドバイスを求められる事があるのは、演奏力や経験だけに限らず、楽曲への深い理解を信頼されているからこそ。

それでも「サウンドは生き物」と言うように人間関係までフォローし、チームプレーの成立に注意を払う。ハーモニーは、気持ちが反映されるからだ。「大きな流れの下支えになれるように」と謙虚に語る姿には、揺るぎのないテクニックと経験が裏打ちされている。



【取材と文：権田康行】 事業企画課施設担当 「困ったら僕に聞け」舞台、音響、電気、パソコン…7つの施設の管理を一手に引き受けるメカニックマン。「休日の朝にクラシック音楽をかけてゆったり珈琲でも…… 憧れます」

伊丹市ふるさと寄附

ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください

伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問合せ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusatoitami.html>



週1回、伊丹アイフォニックホールで練習し、市民も10人在団する。本番だけ伊丹にいないわけじゃないから、こんなショット、お願いしてみました。

定番の名曲、映画音楽、時には無料公演も。

「最初に聞いたクラシックは伊丹シティフィル」な伊丹人は多い。

知ってそうで実は知らない“地元オーケストラ”に迫ります。

地元オーケストラに会いたい

取材・文：中脇健児

「プロのオーケストラにひけを取らない演奏技術と、アマチュア独特の熱気を融合させた演奏を」と20年前に結成された「伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団（以下シティフィル）」。オーケストラで選ばれた精鋭が、第一線で活躍するプロプレイヤーを各パートのトレーナーに迎えて切磋琢磨するプロアマ混合、総勢72人の本格オーケストラだ。市の支援を受けて伊丹アイフォニックホールを拠点に、身近な演奏曲目でこの街のクラシック普及につとめてきた。シティフィルが音楽を届けるのはあくまでも伊丹市民。彼ら地元オケが演奏する、幼稚園など地域密着のステージを見ると「クラシックってもっと気軽に聴けばいいんだ」と音楽の楽しさを思い出させてくれる。

プロもアマもいるシティフィルには、色んなきっかけや想いを持って演奏者が集まっています。だから、聞いてみました。

どっしてオケに入っただんですか？

「団長は元エンジニアだったのです。トロンボーン奏者 郭順也さん



入団したのは26歳の時。40歳まで開発のエンジニアとして働いていたんだけど、忙しくて楽器を触れる時間が減って「本気で音楽やるんら思いついたらあかん」と辞表を出した。そのあと、いつのまにか団長役を頼まれてね。団員全員に気配りしながら運営にもかかわって、一時はプレッシャーで吹けなくなっただけもあつたよ。これからのシティフィル？ 一人一人が頑張るのは当たり前だけど、市民の支援がないと活動の継続は本当に難しい。もっと身近に話をしながらの演奏もしたいね。僕らの演奏は楽しんでもらってなんぼだから。

人当たりの柔らかさに、団員からも事務局からも頼られる心優しい団長。すぐ練習できるようホールから徒歩3分圏内に居を構えるご近所トロンボーン奏者。

「やっぱりみんなと演奏がしたいからヴァイオリニスト 中浜恵子さん



中学にオーケストラ部があつて、たまたま触つたのがヴァイオリン。大学3年の時に「もっとオーケストラで演奏したい」と思つてオーディションを受けました。もう入団13年になります。お昼にオフィスをワーク、夜は練習...という生活は体力的にしんどいですが、やっぱりやめられません。今はカルテット(四重奏)の小編成が楽しいな。演奏中のアイコンタクトやメンバー一人一人の音に合わせる密な感じが魅力。最初は人の輪に入るのが苦手でしたけど、演奏では一体感が大切ですから、積極的に新入団員とコミュニケーションをとるように心掛けています。

「音に磨きをかけるプロの仕事を手廻すホルン担当トレーナー 池田重さん

私達トレーナーは指揮者の方向性を踏まえ、団員の相談にも乗り、全体を一つの音楽に調和していく補助的立場です。楽譜に書かれている意味をどう表現するかを、吹き方や息づかいなど言葉で説明できない時は実際に音を出して見せます。音が伝わった時、嬉しいですね。「そつ、その音！」ってね。目に見えないけど、音楽は生き物だから、やりとりから生まれる変化や刺激に喜びを感じます。僕自身もね、いろんな方々に教えてもらつて今がある。だから一人ひととしてどこまでお付き合いするか、それに尽きますね。



伊丹東中・県立伊丹高の吹奏楽部を経た生粋の伊丹市民。現在は大阪フィルハーモニー交響楽団の首席ホルン奏者。

「常任指揮者、加藤完二さんに聞く20年積み重ねたシティフィルの音とは」



設立当初は団員だけでなく、指揮者の僕やトレーナーも一緒にプロプログラムや運営方針を考えました。10年以上演奏を重ねるうちに、お互い「何が必要か」がわかってきたから、団員主体になるような僕の関わり方を変えてきました。幼稚園や福祉施設、まちなかで演奏させていく機会が増え、ようやく地盤ができてきたんじゃないでしょうか。室内楽はオーケストラの基本だし、生の声を聞ける機会がは実力の向上に絶対つながるからね。メンバーとはファミリー的な雰囲気大切にしたい音楽づくりをしています。良い意味でリラックスした演奏なら「もっ一度聴きたい」って思ってくれるはず。やっぱりお客さんがオーケストラを育てるから、リピーターをもっと増やしていきたいね。教育者的な視点も併せ持ち、兵庫県立芸術文化センターの佐藤裕とスパーキッズオーケストラの首席指揮者や大阪音大 同同志女子大で教鞭をとる。京都市少年合唱団音楽監督も。

最初の一歩のクラシック

気になってきたら、実際に観にいきたい。
それぞれに個性のあるコンサートをオススメします。

10/2(土) 時代を超えた東西のコラボ。
11/13(土) 酒蔵×クラシック

シチュエーションの妙を楽しむなら
国指定重要文化財の酒蔵で聴くクラ
シックはどうだろう。静かに佇む築330
余年の木造建築に管弦楽の生音が
溶け込んでいく。異なる東西の出会い
とは思えない見事な調和にアンサンブル
の醍醐味を堪能しよう。毎年、春と
秋にはシティアフィルによる無料コンサートが開催される。他に毎秋にテレマン
協会によるバロック音楽なども。



【秋の酒蔵コンサート】 10/2(土)、11/13(土)、14:00。無料。
072-780-2110(伊丹アイフォニックホール) 【会場】伊丹郷町館

12/11(土) 作品から作曲家の人生を読む
田尻洋トーク&ピアノ

身近な距離でお話と演奏を楽しめるコンサートは、
親しみやすく魅力的。『運命』はベートーヴェンの指
針「苦悩を超えて歓喜に至る」という英雄的精神を表
現する一大ストーリー等、田尻洋さんのトークは、
作曲家の人生観や曲のエピソードから情景が目につ
かぶよう。好評のシリーズは伊丹アイフォニックホール
との交互開催で、年4回多彩なプログラムを展開。



【田尻洋トーク&ピアノコンサートシリーズin伊丹vol.47 “孤高の
歌 シューベルト・シューマン”～心癒される世界へ～】 12/11(土)
14:00、2,000円。全席自由(入場整理番号付整理券)。定員170名(先着
順)。072-778-8788 【会場】いたみホール・B1サロン

12/8(水) シーズンを満喫。
クリスマスコンサート

四季折々、定番の音楽で盛り上げ、ワクワク気
分にさせてくれる公演は楽しい。馴染みのクラシ
ックのメロディーは、自然と入ってくるはず。まずは、年
末の一大イベントであるクリスマスのコンサートに
出かけてみては。クリスマスにちなんだ作品や映画
音楽の名曲など、バラエティに富んだプログラム。
サンタの衣装の演出で遊び心満載の、世界的なト
ランペット奏者の演奏をぜひ。



【クリスマス・スペシャルコンサート 聖夜のトランペット レオニ
ド・コルキン】 12/8(水) 19:00、3,000円(当日500円増)。
072-778-8788 【会場】いたみホール・大ホール

私の一枚

J.S.バッハ「マタイ受難曲」
(カール・リヒター指揮)

バッハの最高傑作の一つに数えられるマ
タイ受難曲。名盤中の名盤。人間の本
質を鋭くぐる贅肉のない演奏と、劇的な
迫力に圧倒されます。これがリヒター31
歳の指揮というのだから驚きです。



伊丹アイフォニックホール
西史夏さん

コンサートの 楽しみ方

クラシック曲は文学作品へ
の登場頻度も高い。マタイ
なんかは、村上春樹さん
の「1Q84」で認知度が
高まりましたよね。小説
やエッセイから興味を
覚えて生演奏を聴い
てみるのも楽しいと思
います。

私の一枚

バーブラ・ストライザンド
「クラシカル・バーブラ」

私の憧れの人! クラシック独特の美とは
異なる芝居心と声の力で届けられたあの
素敵な曲は何? 「歌いたい! 知りたい!」
そうやって声楽を専攻しちゃった私によ
うな元アンチクラシックもいるのです。

コンサートの 楽しみ方

歌に芝居が見えるヒ
トに惚れます。曲に物
語や歴史を感じて妄
想します。好き・気にな
るポイントからの
めり込んで、派生す
る文化についても効
率良く知識にしちゃ
う。興味の湧いた所
から広げて、曲本来
の奥深さまでたどり
着くのが目標かな。

いたみホール
加藤四季さん

「クラシックって どうやって楽しめばいいの?」 なんていうビギナーの方へ。

文化施設のクラシック好きたちが、
それぞれの「おすすめの最初の1枚」と
「コンサートの楽しみ方」を
ご紹介します。

アイホール
権田康行さん

コンサートの楽しみ方

音響を専門に学んでいたんで、全
体の音の調和やバランスを重視し
ます。誰かが目立っているのではな
く、気持ち良く耳に聴こえるのが僕
のポイントですね。



私の一枚

カラヤン=ウィーン・フィルハーモニー
「ドヴォルザーク:交響曲第9番
<新世界より>」スメタナ:交響詩
<モルダウ>」

親から高校生の時に譲り受けたんですが、田
舎に住んでいたから、クラシックをちゃんと初
めて聴いたのがコレ。意外にアレルギーもな
く、のめり込んでいった最初の一歩です。

私の一枚

R.シュトラウス作曲
歌劇「ばらの騎士」

豪華絢爛な演出で、特にキャスト
ングや指揮者、舞台美術が良く、非の打
ち所がないですね。指揮者のカルロ
ス・クライバーはレコーディングの数が
少ない分、希少価値もあります。

私の一枚

ハチャトゥリアン:バレエ
「ガイヌ」組曲 他
/チェクナヴォリアン指揮
アルメニア・フィルハーモニー管弦楽団

初心者でも退屈しない1枚。最近有名に
なった「仮面舞踏会」や、運動会でよく使
われる「剣の舞」などが収録されています。
再生機器によって音が変わるので、オー
ディオマニアにもおすすめです!



みやのまえ文化の郷
(美術館・工芸センター) 伊丹郷町館
大西可久さん

コンサートの楽しみ方

自分がプレイヤーでもあるので、ソ
リストや主役の登場に注目しま
す。やっぱり一流は最初から
違うんですよ。立ち振る舞
い、目線の送り方でお客さ
んが自然と惹きこまれます
から。華、というか
オーラの有無が気にな
ります。



伊丹アイフォニックホール
瀬戸口文乃さん

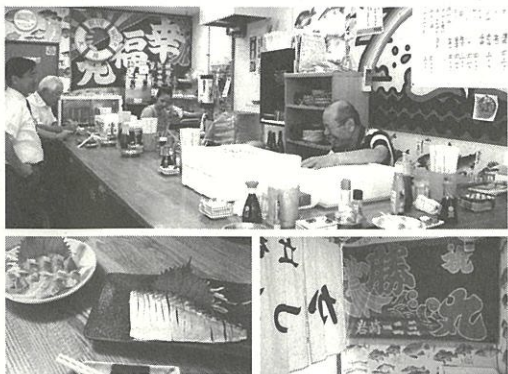
コンサートの楽しみ方

メンバーがどこを見てタイミングを取りな
がら演奏しているかを見るのもオモシロイ
ですよ。基本は指揮者ですが、オーケス
トラや曲目によって違う時があるんです。
「なんでもか〜」なんて考えながら聴くのも
楽しいかも、です。

伊丹には感動の余韻を楽しませてくれるお酒と料理がちゃんとありました。

終演後の一軒

A DOOR AFTER THE SHOW



ホタテ・カンパチ・秋刀魚など旬の魚を刺身、てんぷらなどで。300円～500円。生中350円。日本酒250円ほか。カウンターのほかにはテーブルもあり。

11/23(火・祝) □会場:いたみホール

宮川彬良 & 大阪市音楽Dahhhhn!

体温が1.3度上がるプラスエンタメ!



BS2「どれみふぁワンダーランド」、教育TV「クインテット」で大人気のアキラさんが、吹奏楽界に新旋風! プラス界の雄「大阪市音楽団」と贈る「宇宙戦艦ヤマト」「マツケンサンバII」等、お馴染みのナンバーに笑い涙のステージ!

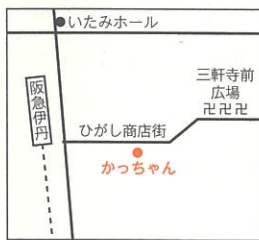
11/23(火・祝) 15:00。一般:3,500円、4歳～高校生:2,500円(全席指定・当日各500円増)。072-778-8788。

※4歳未満のお子様のご入場はご遠慮下さい。

釣りとお酒を愛する立呑み屋

遊び心いっぱい演出と宮川彬良と大阪市音楽団の強烈な演奏で、次の日の仕事でも頭の中はプラスの音が鳴り響き、お祭り騒ぎが収まらない。そんなアフターファイブには、クラシック音楽を愛する立呑み屋「かつちゃん」へと向かう。店内にはクラシックやオペラのラジオ番組が流れ、ご主人の家にはレコード・CDが400枚はあるという。根っからの釣り好きでもあり、魚拓や地元同級生から送られた大漁旗が壁一面貼られ、メニューは毎朝市場で自ら選んだ旬の魚が並び、和歌山産天然ダイは、締まった身と炙った皮の舌触りがよく合い、自家製シメサバは、八戸産の鯖のうまみが口の中に広がる。値段もお手ごろと

あつて、色々な魚を試せるのが嬉しい。お腹もふくれ始めた頃、ラジオから流れてきたのは、運動会の徒競走でお馴染みの、オフエンバック作曲「天国と地獄」。すかさず「映画「赤い風車」で、ムーラン・ルージュの踊り子がこの曲で踊るんや」とご主人の解説が入り、隣のお客さんが「主人公のルートレックは、ムーラン・ルージュの絵をたくさん描いているよね」と補足説明をしてくれた。その後は、伊丹に住んでいた白洲次郎の武勇伝や、まちの音楽イベントの構想など、伊丹の文化の話題に花が咲く。伊丹特有のちよつと酒の匂いが混じった文化の香り、立呑み屋でのこんな会話からも漂ってくるのかもしれない。



立呑み屋 かつちゃん

中央1丁目5-5/土・日・祝休/
14:00~20:30

【取材と文:宮村賢治】いたみホール所属 アートプロジェクトのオモシロさにみせられ、日々商店街やまちなかをぶらつく。「クラシックギターで「アルハンブラの思い出」を弾いていたあの頃はもう、遠い思い出」

財団四季の 芸は身を助く

「陸上自衛隊第3師団」

近畿2府4県の防衛警備・災害派遣等を主たる任務とする。



超体育会系ノリで自分に喝を入れてみる

自衛隊での一泊二日の新人社員研修。ラッパが起床時間を告げた二日目の始まりです。

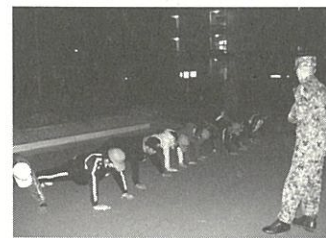
就寝前の点呼では、協調性に欠けた私達に連帯責任の腕立て伏せもあり、緊張状態での睡眠のせいでお疲れモード。察知した教官は「ONとOFFの切り替えが大事だ」と! 遊ぶ時は遊び、指導する時は襟を正すメリハリが1日たつとリアルに格好良いです。

訓練は阪神地区でM8超の地震発生を想定した中山寺までの往復長距離歩行。救援物資の水6リットルのペットボトル入りの迷彩柄リュックを背負います。研修の成果が皆お互い

のリュックの紐の結び合い、確認し合う気遣いが自然に生まれています。季節は春。満開の桜並木に幸せを感じつつも、寒さと荷物の重みでうっ血した指先の浮腫みと相まって感覚が麻痺してきます。道中の励まし「昼はウイナーカレーだ!」というの「らしい」など。

昼食後には装甲車に乗せて頂き「こんな重量感や大音量を肌感じたことは今までなかった!」と貴重な体験をさせていただきました。

皆が団結し、時間の有効活用を考えるようになる意識の変化を目の当たりにして、私も職場の同期と参加して絆を深めてみたかったかなとちよつと思つたのでした。



就寝前、気の緩みを見透かされ一喝。罵声が飛ぶ中、この姿勢で耐える。腹筋背筋の弱さも露呈し、心身ともに反省。



列になって協力しあう。初日からは考えられない姿です。感動の瞬間。



一泊二日、無事終了。隊長直々に修了証を下されました。貰い方にもきちんとルールがあり、練習しました!

【取材と文:加藤四季】いたみホール所属 声楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「クラシックな雰囲気と現代的魅力を併せ持つ、尊敬する男役。…見届けました。ありがと——!」



いつも「今」を謳歌する70歳。
ラストホール内にある
フィットネスラスタに毎日
通う矢野アイ子さん。約50
年前、フジコーへの就職で
引越してきてからずっと伊
丹市民だ。「定年退職する
までは人生、働いている。
…やったけど、今は、遊ん
でいる。感じかな」と笑う。
60歳から始めた水泳は息づ
ぎからだったが、300m
泳げるほどに。人付き合い
も多く友人とカラオケや
ハイキングなど毎日を楽し
んでいる。最近、足の手術
をした矢野さん。リハビリ
もかねて歩くスピードの
店が少なくなってきた街並
みに時の流れを実感する。
「当時、買い物と言えば宮
ノ前商店街。服を買うにも
布から仕立ててもらったの
よ」と往年の伊丹を懐かし
む一方「早く足を治して、一
時期のめり込んだ山登り
を再開したい」と次の目標
を語ってくれた。



退職後、フィットネス通いが日課の矢野アイ子さん。知り合う友だちと日々楽しむ行動派。

職場の友人たちと山登りへ

1990年完成したばかりの緑ヶ丘公園の桜月亭で。

スタッフとも和気あいあい

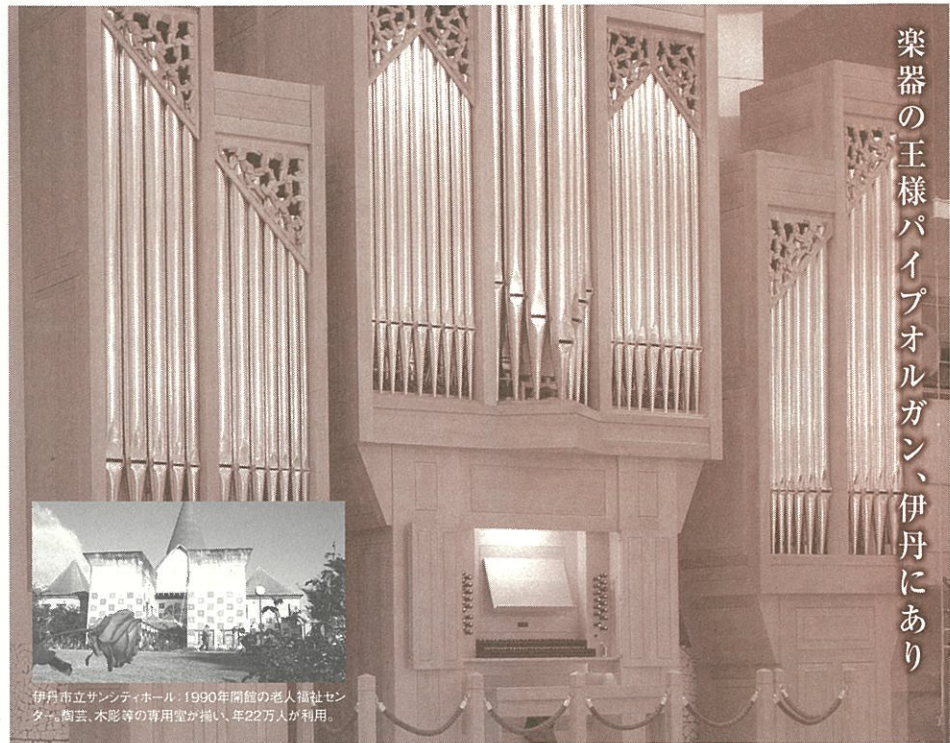


強豪、オモシロ、珍部活。青春の玉手箱、知られざる放課後ライフをご紹介します。
THE部活
【県立伊丹北高校 電脳研究同好会】
取材と文◎権田康行

ユルさが僕らのマイペース

「あやしい名前でしょ」と顧問の佐藤勝彦先生は笑うが、プログラミングからイラスト・音楽制作まで行う活動は幅広い。長らく休部状態であったものを、部長の松本陸くんが顧問・部員集めと奔走し、昨年から復活した。兼部ながらも部員数は13名。「しぼられなくて自分のペースで」と部員は魅力を語るが、今は個々の能力や個性

を活かした役割分担をして、一つの作品を完成させる事が目標だ。「自分のイメージを形作る面白さより、みんなで取り組む事や苦労をわかちあう方が楽しい」と松本くんは意気込む。将来的には同好会から部への昇格を目指す。「このユルさがええの」と先生が突っ込むと「最初の関門はこの人なんです」。そのやりとりが微笑ましい。



楽器の王様パイプオルガン、伊丹にあり



伊丹市立サンシティホール。1990年開館の老人福祉センター。陶芸、木彫等の専用室が揃い、年22万人が利用。

ベルギー・ハッセルト市との姉妹都市交流の中で1993年に設置された。広い音域と多様な音色から、楽器の王様といわれるパイプオルガンはオーダーマイドが基本で、こちらのものもホール正面の高さ・幅にぴったり収まる仕様だ。

公共施設での保有は意外と少なく、関西では宝塚のベガ・ホールなどを含めて5箇所ほど。設置後の活用が問われるため、同ホールでは館長いわく「身近な演奏をもってパイプオルガンここに有り」の方針のもと、月2回の無料公演、市民対象の体験教室や年3回の趣向を凝らした有料公演など意欲的な活動を展開する。

デリケートな楽器のため、年4回メンテナンスを行うが、1995年の震災時には大きな被害を受け、復旧に1年を要した。阪神間一円から足を運ぶオルガンファンには、やはりパツハの曲が人気。荘厳な音色を身近に体感できる幸せを生演奏で感じてほしい。

いつ聴ける? 月2回昼時に無料公演。次回の有料公演は10月23日(土)。詳細以下まで。(お問い合わせ)伊丹市立サンシティホール(072-783-2350)



【取材と文:内山真理子】伊丹アイフォニックホール所属 世界の音楽を紹介する「地球音楽シリーズ」コンサート担当。ローカル〜グローバルな「伝統芸能」と日々奮闘中。「大学の時、演奏旅行に行きたいのために急ぎょ、オーケストラの太鼓担当に名乗り上げました…」

12・3(金)～5(日) **ベッドでねながらきくおしばい**

小屋の中には古ばけた50台の木製ベッド。そこに横たわり毛布をかぶって、おとぎ話「親指こぞう」を朗読する声に耳をすませると、物語の中の本当の音が響き、まるでそこは本の中。大人も子どももきっとびっくり！体中で感じるお芝居です。



「親指こぞう-ブケッティノ」12/3(金)17:00、12/4(土)11:00/15:00、12/5(日)11:00/15:00。一般2,500円、学生&ユース(25歳以下)2,000円、子ども(小学生)1,000円。072-782-2000

12・19(日) **クリスマスの名曲を歌とヴァイオリンで**

クラシック音楽を身近に楽しめるアーバントコンサート。今回はコンチネタルに、オーセンティックに、ソプラノとヴァイオリンによる名曲とクリスマスソングをお届けします。「愛の挨拶」「ツィゴイネルワイゼン」「踊り明かそう」「アヴェ・マリア」など。



「ITAMI アーバントコンサート ソプラノとヴァイオリンで贈る素敵なプレゼント」12/19(日)14:00。一般1,600円、高校生以下60歳以上1,200円(当日)、一般2,000円、高校生以下60歳以上1,500円。*ソフトドリンクサービス付。072-781-8877

*イベントにより、未就学児童の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各ホールへお問合せ下さい。※いたみホール、アイホール、ラスタホールは火曜日休館。伊丹アイフォニックホールは水曜日休館。美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衝文庫は月曜日休館。(祝日にあたる時は翌日)

アイテム

2010年10月15日発行(季刊秋号・通巻66号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集:アイテム編集委員会
表紙イラスト:ニシウキタダシ
デザイン:三澤敏博(総編集)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
伊丹市立文化会館「いたみホール」内
Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan
Email→itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp



ラスタホール
併設有料駐車場 約30台

市立宮ノ前地下有料駐車場ゾーンのご案内
伊丹アイフォニックホール B・Cゾーン
いたみホール A・Fゾーン
みやのまえ文化の郷 Cゾーン

チケットプレゼント
「アイフォニック地球音楽シリーズ153 歓びの絶唱GOSPEL」12/11(土)19:00。<伊丹アイフォニックホール> 2組4名。11月15日必着。
「オットー・ディックスの版画 戦争と狂乱-1920年代のドイツ」11/3(水・祝)～12/19(日)。<美術館> 5組10名。11月15日必着。

プレゼントをご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団住所宛「アイテムチケットプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

12・6(月) **「公園の歌姫」白熱のコンサート**

井の頭公園でのストリートライブからスタートし、第49回日本レコード大賞・作曲家協会奨励賞。阿久悠全作書下ろしのアルバムを発表するなど、昭和流行歌の懐かしさを感じさせる歌の数々をお楽しみ下さい。



「あさみ ちゆき コンサートツアー～あさみのうた～」12/6(月)18:30。4,500円。072-778-8788

12・11(土) **福音の叫びよ、再び！**

アメリカ・コネチカット州から3度目の登場！最も純粋な形で活動する教会の聖歌隊です。アメリカでは2度にわたり、「クワイアー・オブ・ザ・イヤー」「ベスト・ソロ・ボーカリスト」賞を。人気・実力ともに本物。愛と幸福をみなさまに…。



「アイフォニック地球音楽シリーズ153 歓びの絶唱GOSPEL」12/11(土)19:00。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。072-780-2110

10・22(金)～24(日) **伝説の芝居、再び**

70～80年代の関西を代表する劇団、満開座の最高傑作と呼び声高い伝説の芝居が、京都の遊劇体により再び姿を現します。愛すべき男たちのまがまがしくも、命をことほぐ熱き舞台を、どうぞお見逃しなく。



現代演劇レトロスペクティヴ 遊劇体「編文人に会いとうい」(「編文人に会いとうい」改題) 10/22(金)19:30、10/23(土)14:00/19:00、10/24(日)14:00。一般2,500円(当日300円増)、学生1,800円。072-782-2000

11・3(水・祝)～12・19(日) **伊丹が生んだ孤高の俳人 鬼貫のすべて**

「東の芭蕉 西の鬼貫」と称された鬼貫は、郷土伊丹が生んだ上方を代表する俳人。当文庫創設者岡田柿衝翁にとって鬼貫の顕彰は、俳諧資料収集の出発点であり、核でもあった。市制70周年にあたり、現存する鬼貫の資料を可能な限り紹介する。



「伊丹が生んだ孤高の俳人 鬼貫のすべて」11/3(水・祝)～12/19(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。一般700円、大生450円、中生350円。072-782-0244。

11・6(土) **今も語り継がれる戦場の奇跡**

1914年、第一次大戦下のフランス。戦況がますます熾烈さを極める中で迎えたクリスマスの夜、ドイツ軍には10万本のクリスマスツリーが届けられスコットランド軍の塹壕からはバグパイプの音色が聞こえてくる。そして、奇跡は起こった…



「ラスタ映画倶楽部 戦場のアリア」11/6(土)10:00/14:00/18:00。一般800円、高校生以下60歳以上600円(当日各200円増)。072-781-8877 *美術館「オットー・ディックス」展との共通割引券もあり。

11・18(木)～21(日) **青春群像劇の金字塔**

「現代演劇レトロスペクティヴ」2年目最後を飾るのは、90年代を代表する青春群像劇。合宿制の自動車教習所での、横恋慕や迷走行のすったもんだ。若者たちのとぐろ巻人間関係に、絶妙なバランス感覚が持ち味の売込隊ビームが挑みます。



現代演劇レトロスペクティヴ 売込隊ビームプロデュース「アスクリームマン-中産階級の劇的休息-」11/18(木)19:00、11/19(金)19:00、11/20(土)14:00/18:00、11/21(日)14:00。3,000円(当日300円増)。072-782-2000

10・3(日)～10・11(月・祝) **使えるクラフト作品を展示・販売**

クラフト愛好家からなる「伊丹工芸クラブ」の年に一度のクラフトフェア。陶器・ジュエリー・織物など、クラフト作品が勢ぞろいします。展示品は、基本的にその場で購入可能。素敵な一点ものを発掘して、暮らしの中に取り入れてみてはいかがでしょうか。



「伊丹クラフトフェアby伊丹工芸クラブ」10/3(日)～10/11(月・祝)。10:00～18:00(入館は17:30まで。最終日は16:00最終入館、16:30閉館)。入場無料。072-772-5557

11・3(水・祝)～12・19(日) **直視せよ！一時代を刻印した画家**

20世紀ドイツを代表する画家のひとりオットー・ディックス(1891-1969)。冷徹なまなざしでえぐり出した都市風俗や、自らの強烈な従軍体験を描いた銅版画連作「戦争」など1920年代の代表的版画約90点を紹介。



「オットー・ディックスの版画 戦争と狂乱-1920年代のドイツ」11/3(水・祝)～12/19(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。一般500円、大生250円、中生100円。072-772-7447

11・6(土) **疾走するフィドル！**

フィンランドの農楽師＝「ペリマニ」の伝統音楽を継承する史上最強のグループ、「JPP」が念願の初来日！変幻自在、自由奔放に繰り出される彼らの音楽は、北欧伝統音楽の最高峰と言われています。かつてない音の体験をお見逃しなく！



「アイフォニック地球音楽シリーズ152 フィンランド最強のフィドル軍団」11/6(土)19:00。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。072-780-2110

11・13(木)～12・23(水・祝) **「伊丹国際クラフト展」大賞決定！**

「酒器・酒盃台」をテーマとした国際公募展。国内外375名の応募中から94名の作品が入選。大賞作品は金 鍾其氏の「Colorful」。日本酒を愉しむ為の一つ一つ手作りされた工芸作家による新しい発想の作品、442点をじっくりご覧下さい。



「2010伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」」11/13(土)～12/23(木・祝)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。入場無料。072-772-5557